

令和5年度 環境創出協定活動報告書

令和6年6月27日

住所 高山市松之木町 1040-22

氏名 日医工岐阜工場株式会社

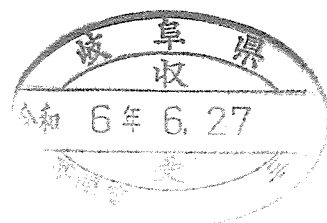
工場長 丹郷 博喜

環境創出協定第20条第一項の規定により、次のとおり報告します。

環境創出協定第4条に基づく維持管理目標値及び将来目標値等と実績値の比較

1. 表-1 令和5年度の環境監視実績と自己評価一覧

注:法令が適用されない項目等に関しては、「—」を記入する。		法令に基づく規制基準	維持管理目標値	将来目標値及び到達目標年	自主検査の頻度	令和5年度実績	自己評価
水質汚濁 (排水水)		高山市下水道条例			12回/年		
	pH	5.0~9.0	5.8~8.6	5.8~8.6		6.9~7.7	○
	SS	600mg/L以下	400mg/L以下	300mg/L以下		最大値 36mg/L	○
	COD	—	—	—		—	
	ノルマルヘキサン 鉱油類 動植物油脂	5mg/L以下 30mg/L以下	3mg/L以下 20mg/L以下	3mg/L以下 15mg/L以下		1mg/L未満 最大値 6.4mg/L	○ ○
	BOD	600mg/L以下	400mg/L以下	400mg/L以下	24回/年	最大値 280mg/L	○
ダイオキシン類(焼却炉)		—	—	—	—	該当なし	
ダイオキシン類(排水水)		—	—	—	—	該当なし	
騒音	騒音	(dB)	(dB)	(dB)	2回/年	一回目 二回目 10/3~10/4 3/7~3/8	○
	昼間	70以下	65以下	65以下		63 61	
	朝・夕	65以下	60以下	60以下		58 58	
	夜間	60以下	60以下	60以下		60 58	



振動	振動 昼間 夜間	(dB) 65以下 60以下	(dB) 65以下 55以下	(dB) 55以下 50以下	1回/年	一回目 10/3～10/4 39 28	○
悪臭	—	—	—	—	—	該当なし	—
産業廃棄物	ゼロエミッション率		令和2年ゼロエミ率を基準として毎年0.5%削減	令和2年ゼロエミ率を基準として2%削減	1回/四半期	令和2年実績(6.57%)に対し、本年度実績は3.06%(3.51%の削減)となり、目標を達成した。	○
土壌検査	ジクロロメタン	検出されないこと	検出されないこと	検出されないこと	1回/年	令和6年3月15日 0.1ppm未満(検出限界値以下)	○

環境創出活動状況報告

2. 環境監視実績と実施状況報告

大気汚染物質管理状況

ばい煙施設に該当するボイラーの燃料をすべてA重油からLNGに変更したため、今年度からの管理計画において大気汚染の管理項目を設定していないが、年2回、受入れたLNGに硫黄分が含まれていないことを確認しており、いずれのロットにも確認されなかった。

水質汚濁物質管理状況

工場の排水は工場敷地内にある排水処理施設で処理され、公共下水道を經由して終末処理場である高山市下水道センターに送液される。工場敷地出口における公共下水道への排水の水質を常時監視して規格内の水質であることを確認している。令和6年2月に下水道法および高山市下水道条例に定めた基準値を超えるpHの排水の放流が確認されたが、適切に行政へ連絡し、対処を行うことができた。

騒音

工場敷地境界における騒音は令和5年10月と令和6年3月に測定を実施した。結果については環境省告示(平成18年9月29日第132号)に従った90%レンジ値(L_{A5})の測定値を報告しているが、令和5年度測定値はいずれの時間帯でも維持管理目標値および将来目標値に適合していた。

振動

工場敷地境界における振動は令和5年10月に測定を実施した。結果として振動レベル(最大値 L_{vmax})は維持管理目標値および将来目標値を下回り適合していた。

土壌汚染管理状況

モニタリング指標として例年、ジクロロメタンの土壌中のガス濃度測定を実施している。令和 5 年度ジクロロメタンは 0.1ppm 未満(検出限界値以下)と検出されず、土壌の汚染は確認されなかった。

産業廃棄物管理状況

工場での製品生産活動で発生する産業廃棄物の令和 5 年度排出量(937.38t)は、令和 2 年度(1109.62 t)と比較し 15.52%低減であった。岐阜工場のゼロエミッション率については令和 2 年度と比較すると、3.51%の削減となった。

引き続き産業廃棄物の排出量の削減に努める。

化学物質の適正管理状況

化学物質の管理に関する諸法令(化管法、毒劇法、安衛法、消防法等)を遵守して、化学物質の意図せぬ拡散、外部排出を防止しており、今年度は 1 件、貯蔵タンクからの塩酸の漏洩事象が発生したが、漏洩ます内に収めることができ、外部への拡散・排出を防ぐことができ、環境事故には至らなかった。

その他の環境創出に関する対策状況

以前から継続的に地域社会と関わり、また地域関係者を工場見学に招待するなど、開かれた工場を目指すとともに、広く意見を求め、新たな環境創出活動につなげている。令和 5 年度の地域社会関連活動実績は、以下のとおりである。

令和 5 年 6 月	「第 11 回 飛騨高山ウルトラマラソン」に協賛&スタッフボランティアとしてサポート
令和 5 年 8 月	高校生応募前見学会開催
令和 5 年 10 月	高山工業高校インターンシップ受け入れ
令和 6 年 2 月	飛騨神岡高等学校 工場見学

以上

